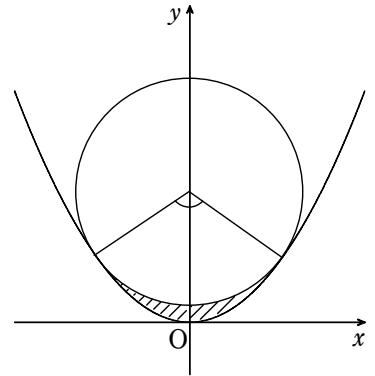


[東京工業大学 1957 年 解析Ⅱ 3]



中心が y 軸上にありしかも x 軸と交わらない半径 1 の円が放物線 $y = x^2$ と 2 点を共有している。この円の下方の弧とこの放物線とが囲む図形を F とする。



- (1) F を見込むこの円の中心角はいくらか。
 (2) F の面積はいくらか。



(1) 題意の円の中心を $(0, a)$ とすると、円の方程式は $x^2 + (y - a)^2 = 1$ とおける。

これと $y = x^2$ を連立して $y + (y - a)^2 = 1 \Leftrightarrow y^2 + (-2a + 1)y + a^2 - 1 = 0 \dots \textcircled{1}$

$\textcircled{1}$ の判別式を D とすると、円と放物線が接することから

$$D = (-2a + 1)^2 - 4(a^2 - 1) = -4a + 5 = 0$$

よって $a = \frac{5}{4}$ となる。このとき、 $x = \pm \frac{\sqrt{3}}{2}$ 、 $y = \frac{3}{4}$ である。

題意の中心角を θ ($0 < \theta < \pi$) とおくと

$$\tan \frac{\theta}{2} = \frac{\frac{\sqrt{3}}{2}}{\frac{\frac{5}{4} - \frac{3}{4}}{4}} = \sqrt{3}$$

より $\frac{\theta}{2} = \frac{\pi}{3}$ なので $\theta = \frac{2}{3}\pi$

(2) 求める面積を S とする。対称性を考えると、第 1 象限にある部分の面積を 2 倍すればよい。

台形から「扇形」と「放物線と x 軸とで囲む部分」を引くと考えて

$$\begin{aligned} \frac{1}{2}S &= \left(\frac{3}{4} + \frac{5}{4}\right) \times \frac{\sqrt{3}}{2} \times \frac{1}{2} - \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot \frac{\pi}{3} - \int_0^{\frac{\sqrt{3}}{2}} x^2 dx \\ &= \frac{3\sqrt{3}}{8} - \frac{\pi}{6} \end{aligned}$$

よって $S = \frac{3\sqrt{3}}{4} - \frac{\pi}{3}$